

# 知床の森から

平成21年11月 第122号

北海道森林管理局 知床森林センター  
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東(国設知床野営場内)  
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477  
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>  
■写真: シードトラップ(1m×1m)で採取したドングリ約1週間分



知床森林センター広報紙

## 過去最高の大豊作 ミズナラ堅果結実調査

知床半島の主要樹種の1つであるミズナラの生態把握を目的に、平成元年より毎年行っている「ミズナラ堅果結実調査」の今年度分の調査が、10月下旬をもち、ドングリが採取されなくなったため終了しました。

調査地、方法は、岩尾別地区15箇所、イタシベツ地区10箇所の計25箇所に設け、1m四方のシードトラップと呼ばれるネットを1本のミズナラに対し3つ

樹冠下に設置し、落下して集まったドングリを週1回回収して計測

します。計測は堅果数量、殻斗を取り除いた重量、長さについて測定します。

一昨年は豊作、昨年は並作となり過去の傾向から並作、もしくは凶作と予想していましたが、今年度は調査開始以来、過去最高の大豊作。ミズナラ1本当たり10,686個、平均重量は1.9gでした。

これらの調査結果については、今後、専門家の意見等を聞きながら分析し、知床ボランティア活動施設やホームページを通じて皆様にご報告いたします。





～「知床らうすの森・川・海をつなぐ1日体験！」～

## 知床で森林づくりを体験

10月4日(日)と24日(土)の2日間、「知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！」(知床永久の森林づくり協議会・北海道森林管理局主催、知床羅臼町観光協会共催)が開催されました。このイベントは、知床の森～川～海の繋がりとは多様な生態系について学び、体験することのできる内容として、羅臼町内で森林散策・植樹体験～サケ遡上見学～ホエールウォッチングが実施され、森林センターでは「森」についてを担当しました。

各日ははじめに、樹木医の鈴木順策先生と森林センター職員のガイドによる森林散策を行った後、ミズナラ25本、アカエゾマツ25本(2日間で合計100本)の植樹をしました。普段なかなか入ることの難しい山深い森林で行われ、また、森・川・海のつながりを体験し、参加者の皆さんはあらためて知床の自然の雄大さに感心していました。



樹木医の先生から生態系の物質循環を勉強。

苗木は7年生のアカエゾマツと4年生のミズナラです。アカエゾマツは北海道の木に指定されており、エゾシカの食害を受けず、幅広い立地で生育可能なことなどから、最近ではよく植栽されています。ミズナラは北海道の広葉樹ではカンバ類に次いで蓄積が多い木ですが、若い木はエゾシカの食害を受けるためヘキサチューブという保護具を使用しました。この植樹を通して、増加する鹿の問題にも関心を持っていただけました。



ヘキサチューブ(六角形の筒)を被せて、鹿食害から守ります。



10月4日は、地元以外の全国の方、24日は知床観光圏(羅臼、標津、斜里、清里)の方を対象として実施しました。植樹を体験し、みんな笑顔!



## 森の恵みで草木染め ～オリジナル箸袋&お箸を作ろう～



1



2



3



4

①手作りの「箸袋&お箸」と共に記念撮影:参加者からは「楽しかった」の声を頂きました。②草木染めの様子:材料と水を鍋に入れ火を付け染液を作ります。鍋の中が気になります。③お箸作りの様子:普段あまり使うことのない小刀を使っての作業に悪戦苦闘しながら黙々と慎重にお箸を削っていらっしゃいました。④箸置き・留め具作りの様子:どの材料を使って、どんな形のモノを作るか、参加者自身で考えて作りました。⑤染め上がった作品:参加者自身で行った模様付け。茶色はミズナラの殻斗、薄紫はヤマブドウで染めた作品です。



5

## 「丸太切り体験&ペン立て・コースターづくり」 in しれとこ産業まつり

9月27日(日)、「大地と海の恵みに感謝」をテーマに「第30回しれとこ産業まつり」が、みどり工房しゃりの特設会場で開催されました。

当日は、斜里町を含め近隣市町村から各種37団体が出店し、知床森林センターは「丸太切り体験&ペン立て・コースターづくり」を催しました。

丸太切りには多くの方が来場し、その中にはお孫さんと一緒に丸太を切る年配者の方もいました。そういった年配者からは「昔はこうやって、薪をつくったもんだ。」「子供の頃にやったことは忘れないね。」「昔取った杵柄だよ。」などの声が聞かれ、お孫さんにノコギリの挽き方を教えていました。

また、しれとこ産業まつり30回を記念して、さまざまな団体等から“30”にちなんだ景品などの配布があり、知床森林センターもオリジナルコースターを先着30名の方にプレゼントしました。



大人気の知床森林センターコースター



# 知床 は今

知床横断道路も今月上旬から冬季通行止めとなり、知床を訪れる観光客の姿もめっきり少なくなりました。

いよいよ厳しい知床の冬が始まりますが、森林センターでは、今年度実施した様々な調査結果の取りまとめを行っています。その中で、昨年度から実施しています、センサーカメラによる自動撮影で珍しいものが写っていたので紹介します。調査などで知床の山に行っても、モモンガの形跡は見ることはできますが、夜に活動しているためその姿を見ることはありません。しかし、センサーカメラのおかげで、知床の山に「エゾモモンガ」が本当にいるんだということが実感できました。



## ボランティア施設から

◎知床ボランティア活動施設では、一般の方々を対象に木に触れ、親しみ、学んでもらうため、木工作体験コーナーを開設します。木工作体験コーナーでは、各種木工作キットをはじめ、木の素材を活かした木工作が体験できます。みなさまの参加をお待ちしています。



開催日：平成22年1月31日まで

※休館日（水・土・日曜日、祝日及び12月28日から1月4日）

時 間：午前9時から午後4時まで

体験料：1人100円（保険料等含む。木工作キット代は別）

◎森林センターでは、ミズナラの堅果結実調査、野生動物自動撮影など、森林に関する各種調査を行っています。これらの調査結果について、12月以降施設レクチャールームにて順次パネル展示をいたします。結果を見たり詳しく知りたい方はぜひご来館下さい。

## 12月・1月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHPかお電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名	場所・定員	申し込み期間等
12月3日(木)	森の恵みを使って クリスマスリース作り	知床ボランティア活動施設 定員20名(先着)	12月1日まで お電話でお申し込み下さい
1月16日(土)	冬休み企画 親子木工作教室	知床ボランティア活動施設 定員20名(先着)	12月1日から1月12日まで お電話でお申し込み下さい



去年のリース作りの様子です

こちらは親子木工作教室



☆ 知床森林センターのホームページアドレスが変わりました。リンクして頂いている方は変更をお願いいたします。  
新アドレス → <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報誌は道産間伐材を使用しています。